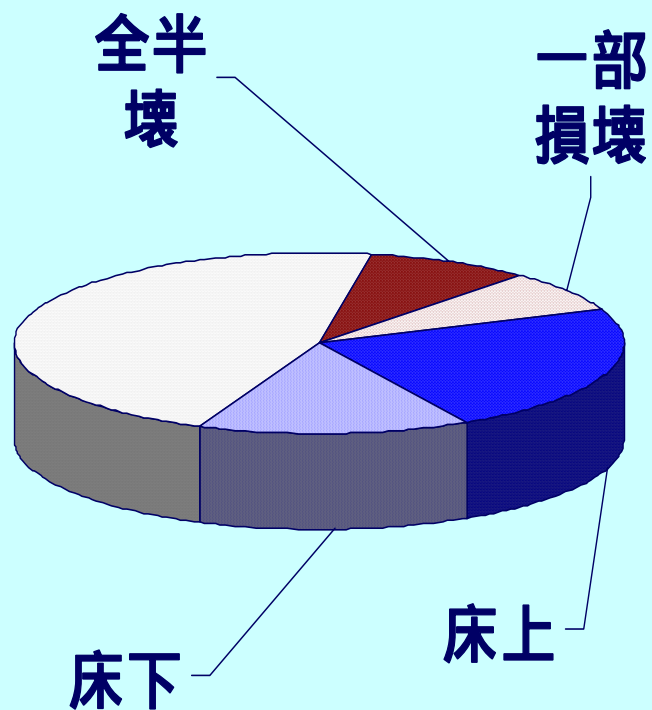


平成16年新潟・福島豪雨調査速報

- ◆調査主体：東京大学廣井研究室
- ◆対象者：新潟県三条市、見附市、中之島町の床上浸水があった町丁目の人口比例
- ◆面接法
- ◆回収数；639票
- ◆三条市 = 320 / 見附市 = 209 / 中之島町 / 110

対象地域の4割が床上以上の被害



✓全半壊 = 8.5%

一部損壊 = 7.7%

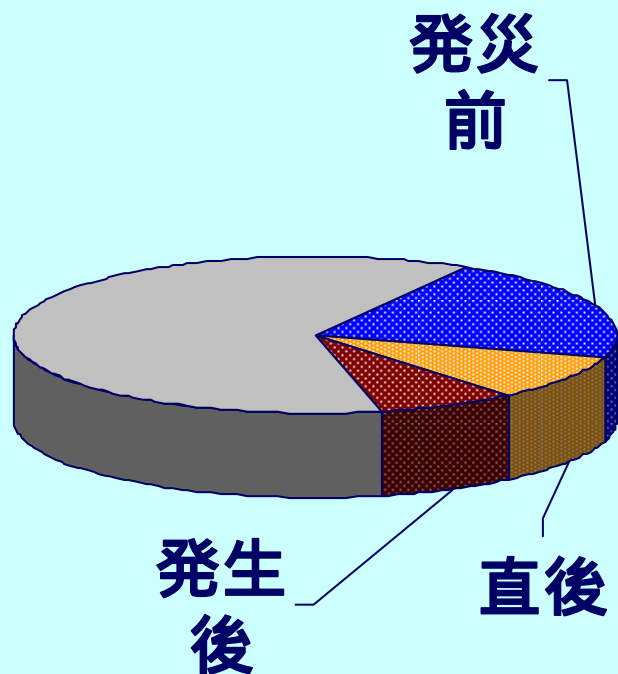
床上浸水 = 22.8%

床下浸水 = 14.6%

✓家族内でケガ =
38人(6%)

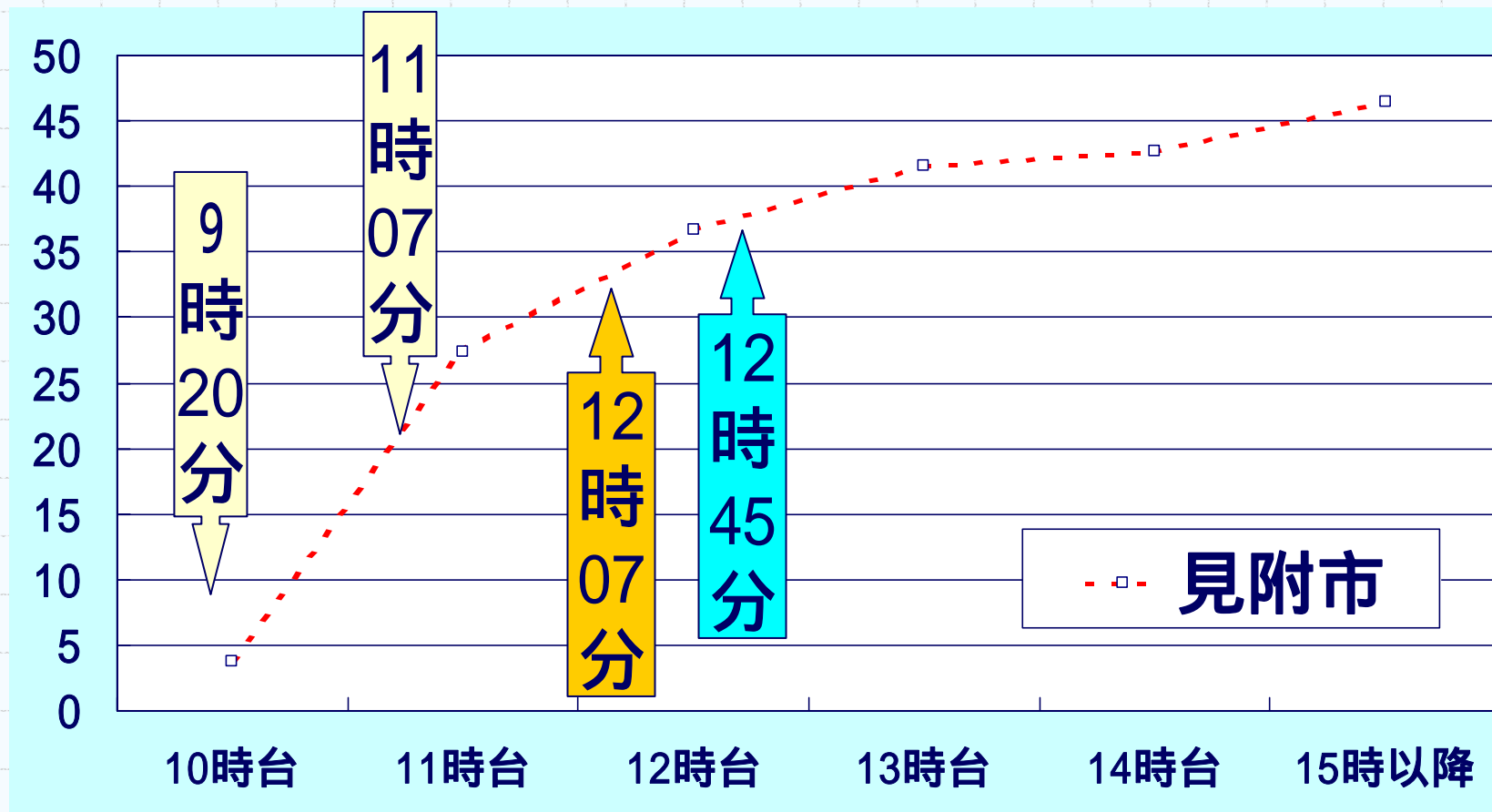
✓500万円超の被害 =
34.7%

8割が勧告を聞いていないか事後

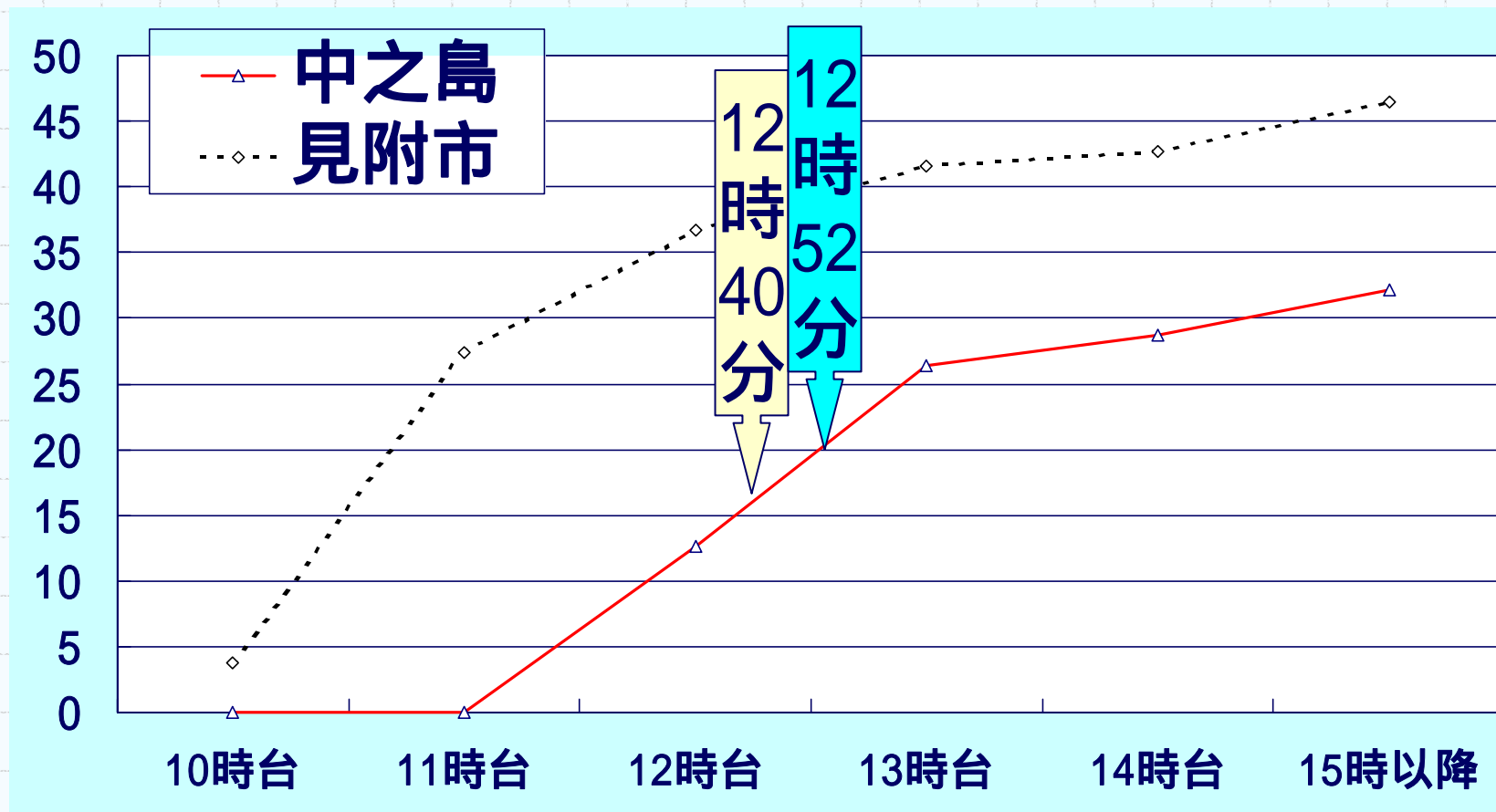


- 3割が大雨・洪水警報を発災前に認知。
- 4割が水害による自宅の被害に不安
- 23%が家財を高い所に上げた。
- 9%がTV等で気象情報を収集
- 7割が氾濫するとは思っていなかった

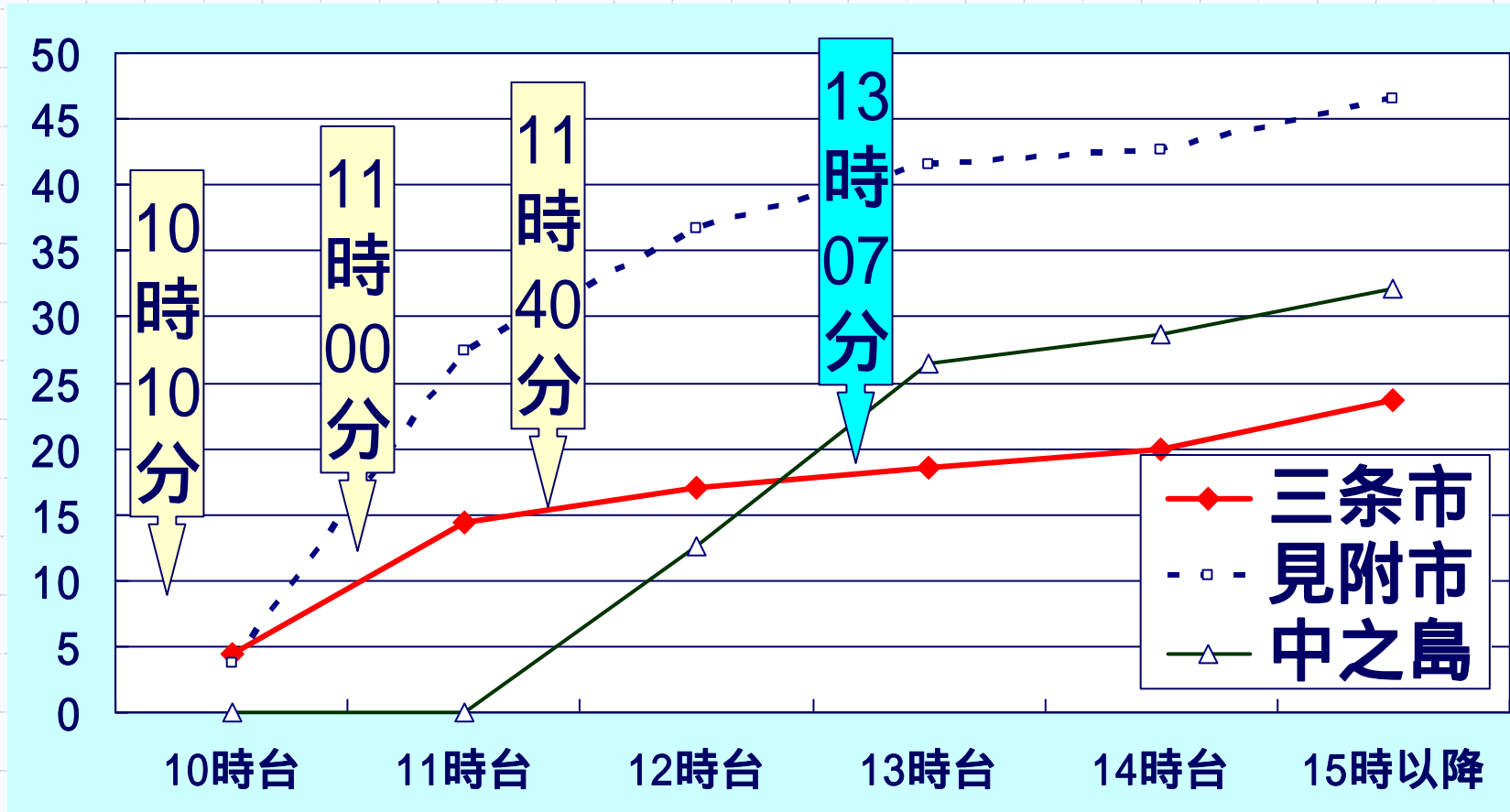
避難勧告聴取時刻 (対人接触が多い)



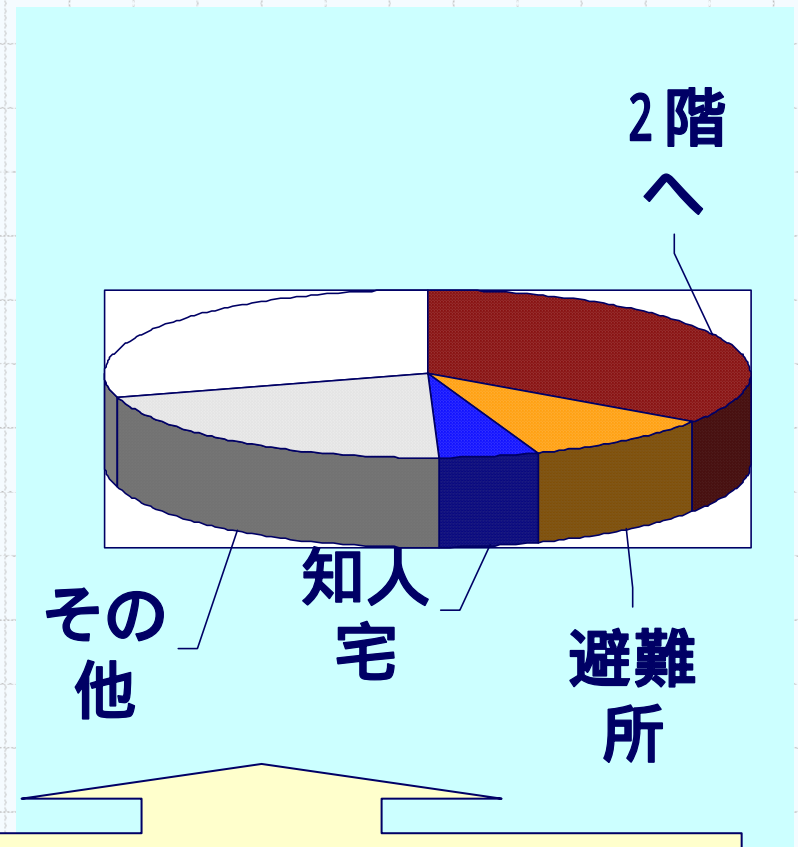
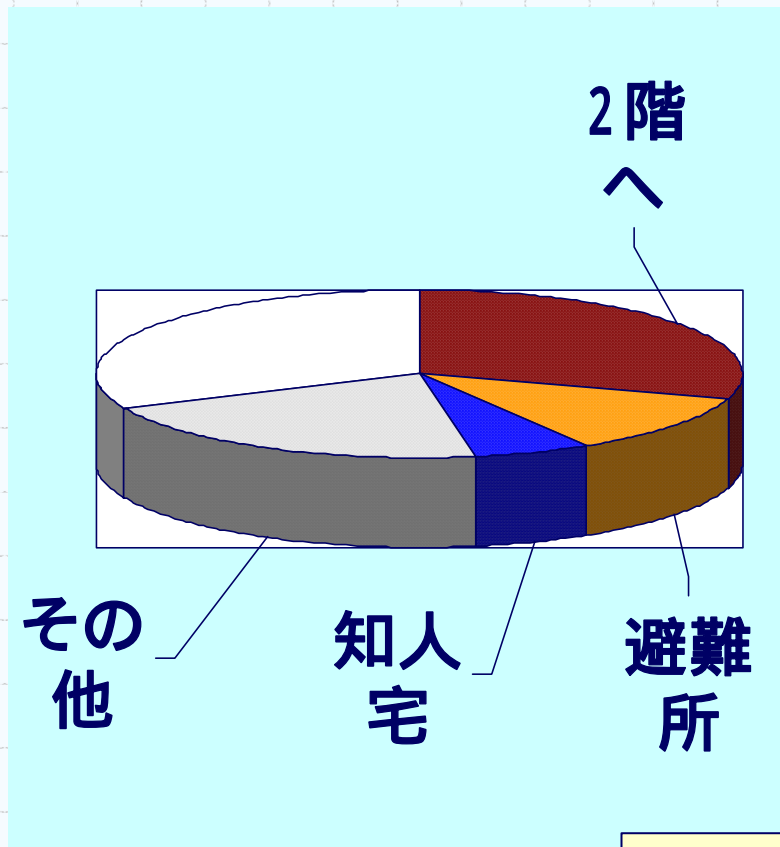
避難勧告聴取時刻 (対人接触が多い)



避難勧告聴取時刻 (対人接触が多い)

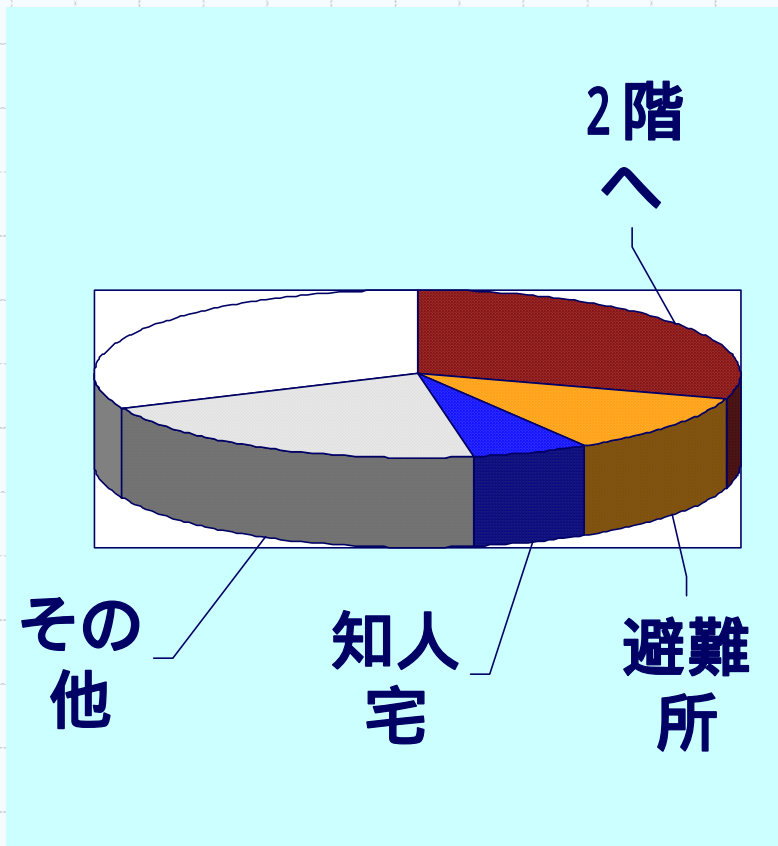


水が迫って来て3割が2階へ



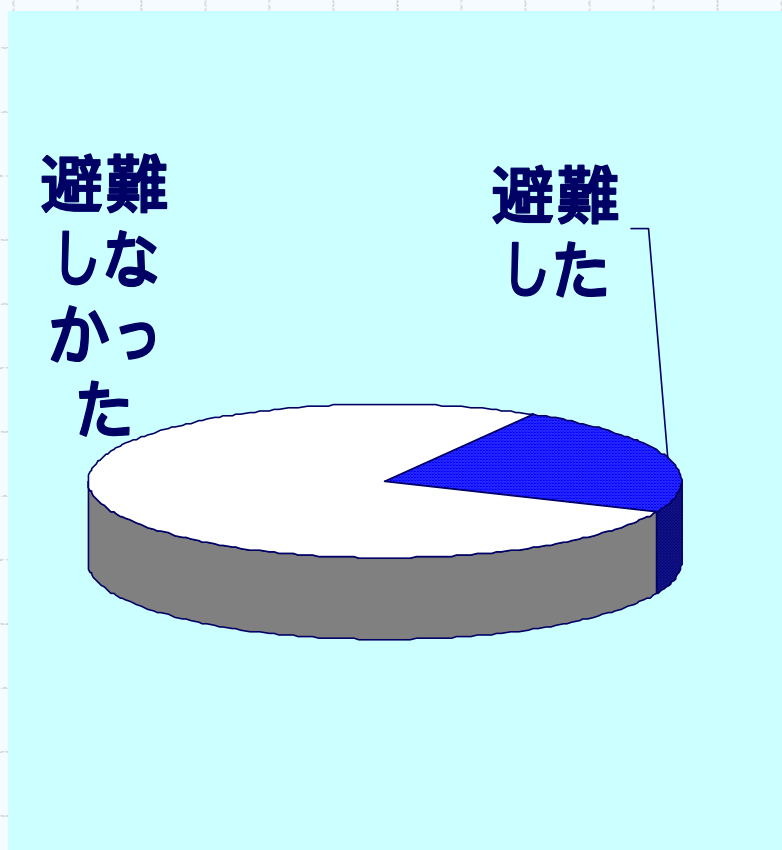
三条市: 37%が2階へ

水が迫って来て3割が2階へ



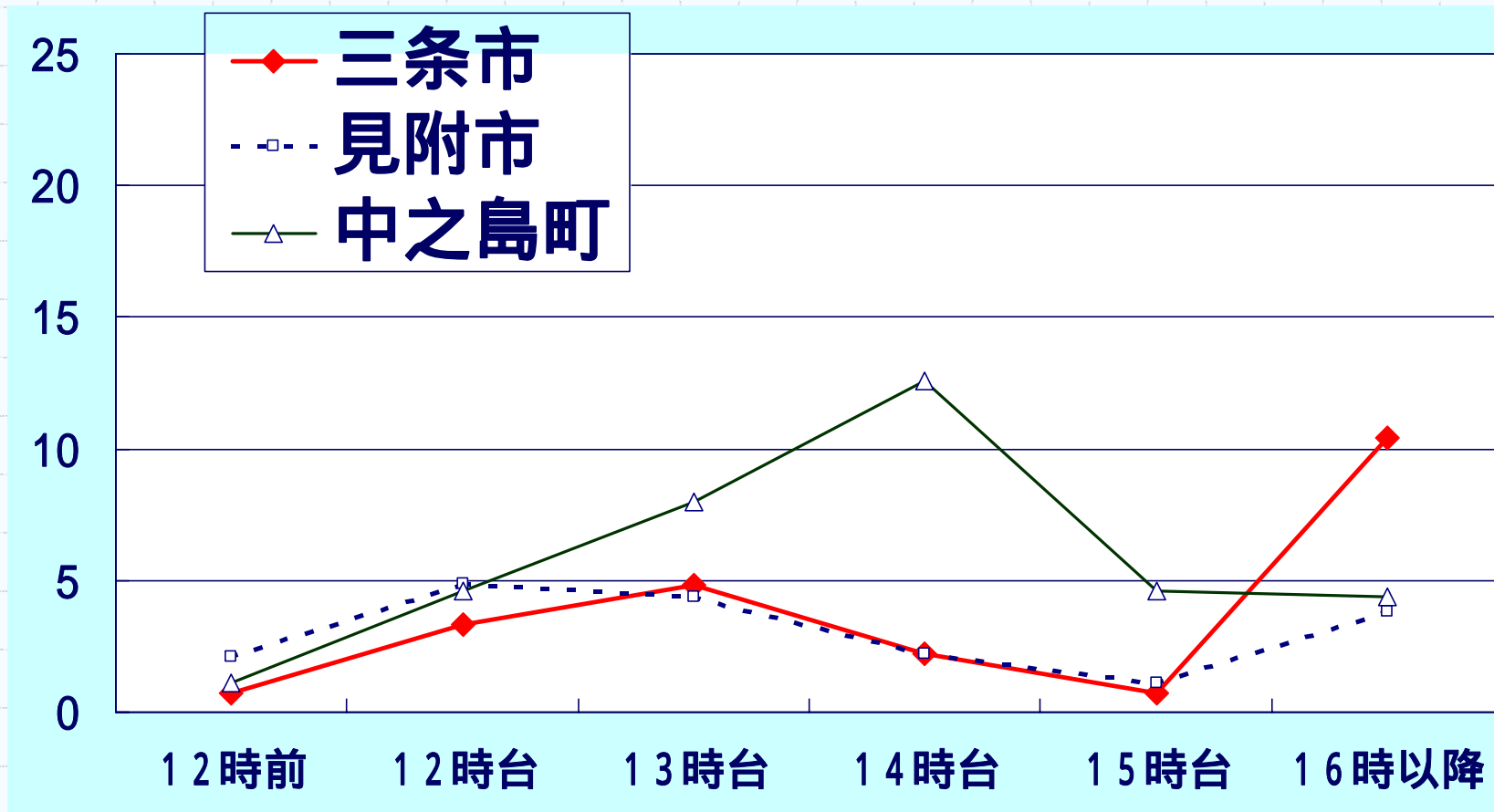
- 近所の高台やビルへは0.4%。
- 2%が避難所まで行こうとしたが危険で戻る。
- その後63%が自宅に留まる。
- ボートで救出されたのは2% (9名)。

23%が自宅から避難



- 三条市 = 22%
見附市 = 19%
中之島町 = 36%
- 中之島では74%が車
- 56%が膝以上まで水
18%は胸以上
- 避難途中で危険を
21%が「非常に」、
36%が「やや」感じた

避難開始時刻



対策の評価

	三条市	見附市	中之島町
避難勧告が遅かった	45.0%	15.8%	71.8%
避難勧告が伝達されなかった	60.0%	17.2%	54.5%
決壊情報が伝達されなかった	70.6%	28.2%	51.8%
ダムが操作が不適切だった	34.4%	21.5%	16.4%

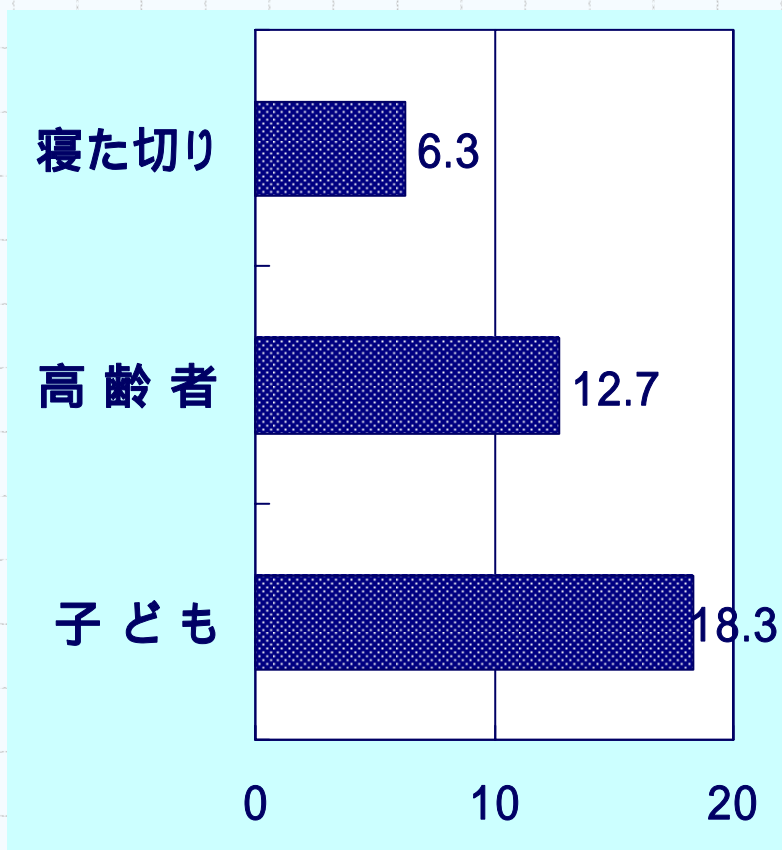
今後充実して欲しい対策

河川の堤防の改修や整備	81.2%
防災行政無線の整備	48.2
避難勧告の自動基準の設定	39.3
ハザードマップの配付	32.2
防災市民組織の充実	29.9
堤防の危険箇所の公表	28.6
気象情報の充実	18.2

98%が空振りしても早く勧告を

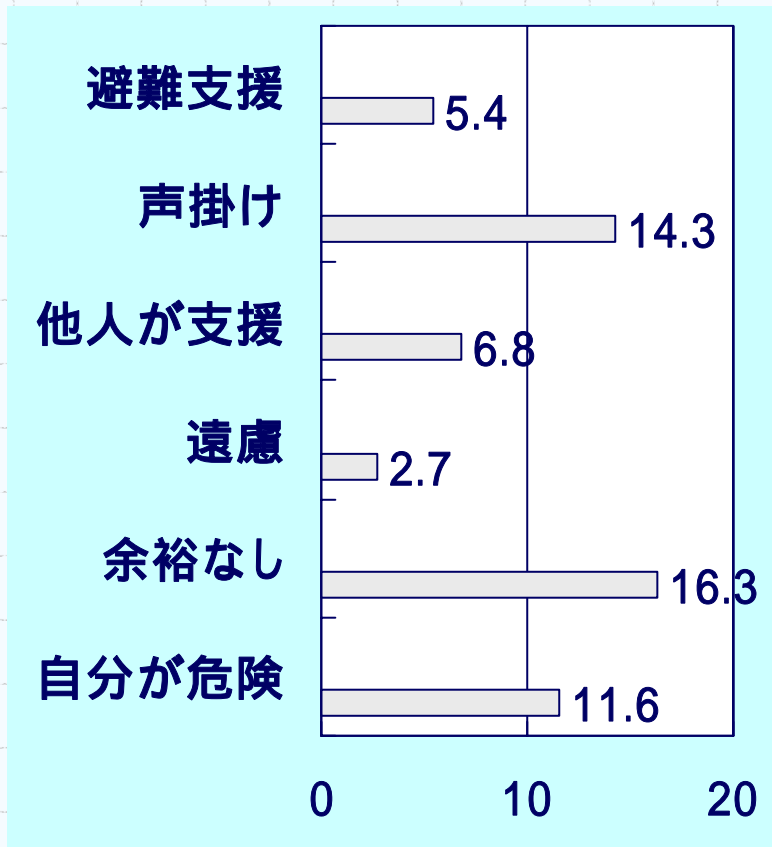
指定避難所を知っていた	55.1%
空振りしても早く勧告を	97.7%
遠くよりも近くのビルへ避難	88.1%
他人に迷惑をかけたくない	36.3%
助けを求められる人が近くに	81.8%

単独避難が困難な人は2割



- 単独避難が困難な人がいる世帯 = 19%
- 支援できる同居人がいる = 97%
- 近所に支援を期待できる世帯 = 67%
- 手助けを得られた = 33%
- 声掛けして貰った = 5%

近所に単独避難が困難な人は36%

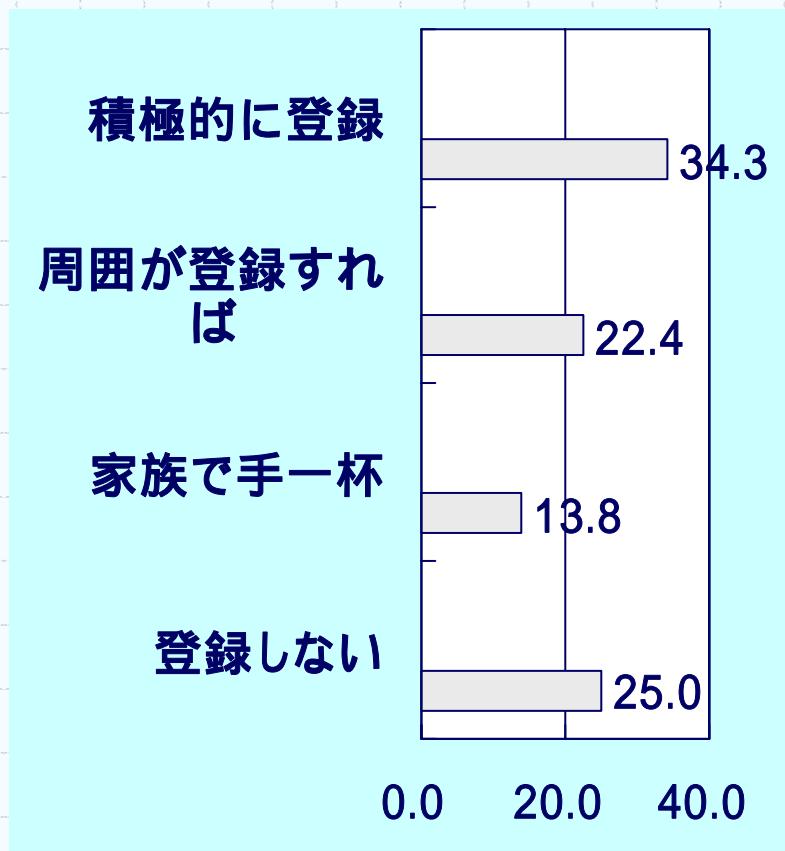


- 単独避難が困難な人
近所にかなり = 2%
近所に少数 = 34%
わからない = 13%

➤ 2割が支援

➤ 中之島 : 声掛け = 22%
: 余裕なし = 28%

6割近くが、支援の仕組みに積極的



- 9割が賛成
- 要支援者として：
積極的に登録 = 46%
消極的だが登録 = 26%
個人情報を知られるので登録しない = 16%
- 支援者として条件付きでも登録する人 = 57%